

羽を休める蝶が、見えますか。

それは、描かれた蝶ではなく、屏風にとまって休む本物の蝶。
ロボットの「眼」が、その違いを見分けられるようになりました。

そのロボットの名は、「enon(エノン)」。このヒューマノイドロボットの先進性は、3次元視覚認識技術が生んだ画期的な「眼」にあります。視覚センサーから得られた画像データを高速処理することで、周囲の環境の3次元形状や3次元運動をリアルタイムに把握。これにより、平面の屏風絵と立体の蝶を瞬時に識別。さらに飛び立つ蝶の動きを検知し、首を動かしながらセンサーで追跡することも可能に。また、視覚情報をもとに移動することができるため、今後、ショッピングセンター やオフィスでお客様を誘導するなど、活躍の場は大きく広がります。ついに、私たちの社会で動き出す技術の「眼」。富士通は、3次元視覚認識技術という新しい「眼」を通して、その先の未来を見つめ続けます。



サービスロボット
「enon(エノン)」

富士通の3次元視覚認識技術

お問い合わせ：富士通コンタクトライン 0120-933-200（土・日・祝日を除く 9:00～17:30）* 様の写真は合成です。